



平成 19 年 4 月 26 日

各 位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証マザーズ)
本社所在地	滋賀県大津市瀬田三丁目 4 番 1 号
代表者	代表取締役社長 加藤 郁之進
問合せ先	常務取締役 木村 睦
T E L	( 0 7 7 ) 5 4 3 - 7 2 1 2
U R L	<a href="http://www.takara-bio.co.jp/">http://www.takara-bio.co.jp/</a>
親会社等の名称	宝ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長 大宮 久 (コード番号 2531 東証、大証第 1 部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日）の連結及び単体業績予想（平成 19 年 1 月 31 日公表）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 19 年 3 月期 業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日）

## (1) 連結 (百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	20,500	300	100
今回修正予想(B)	20,982	65	320
増減額(B-A)	482	365	420
増減率(%)	2.4	-	-
前期実績(平成 18 年 3 月期)	16,534	1,326	1,058

## (2) 単体 (百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,049	166	150
今回修正予想(B)	14,524	149	290
増減額(B-A)	475	315	440
増減率(%)	3.4	-	-
前期実績(平成 18 年 3 月期)	14,096	610	1,621

(注) 業績予想につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. 修正の理由

平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の売上高は、当社の主力分野である遺伝子工学研究分野が第 4 四半期も引き続き好調に推移いたしました結果、連結・単体とも前回業績予想（平成 19 年 1 月 31 日公表、以下同じ）を上回る見込となりました。

経常利益につきましては、遺伝子工学研究分野の売上高の増加が寄与し、連結・単体とも経常利益を計上できる見込となりましたので、前回公表の通期予想を上方修正するものであります。

当期純利益は、連結・単体とも経常利益の増加に加え、第 4 四半期に計上した投資有価証券売却益（連結 164 百万円）等もあり、前回公表の通期予想を上方修正するものであります。

以 上

---

### 当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。